

はじめに



全国で少子高齢化、人口減少の進展に伴い様々な課題が顕在化しつつある中、都市政策は、これまでの拡大・拡散した市街地をコンパクト化することにより、都市の持続的な発展と生活の質を高めていくことが求められています。

本市におきましても、第2次木津川市総合計画及び第2期木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、また、持続的発展性のあるまちづくりを戦略的に進めるため、「木津川市スマート化宣言」を行い、住みたい・住み続けたい・住んでよかったと実感していただけるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

都市計画マスタープランは、総合計画における市の将来像を実現するうえで、都市計画分野を担うものとして、平成23年6月に本市として最初の木津川市都市計画マスタープランを策定いたしました。この計画に基づきまして、この10年間に環境の森センター・きづがわの建設や木津東バイパス・東中央線の開通をはじめ、数多くの施策を進めてまいりました。

本計画は、第1次の成果を検証し、社会情勢の変化に対応した次の10年間に取り組むべき施策や実現性・実効性の高い具体的方針を定めるためのもので、「自然と文化を身近に 未来を拓く学研都市 木津川」を都市計画の目標に定め、令和12年度を目標年次に新たな都市計画を進めてまいります。

本市は、市の名称の由来でもあります一級河川「木津川」を擁し、豊かな自然と数多くの歴史的・文化的遺産を有する一方で、関西文化学術研究都市の中核を担う都市として発展してまいりました。この豊かな自然・文化と最先端の知が共存する本市の強みを活かし、コンパクトな市街地の形成、都市拠点の充実、新たに地域拠点の形成を図り、さらには周辺地域をネットワークで結ぶことにより、持続可能な社会、多様なライフスタイルに対応できるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたりまして、それぞれのお立場から、活発なご議論をいただきました都市計画審議会委員の皆様及び各関係機関の皆様方に、心から感謝とお礼を申し上げます。

令和3年3月

京都府木津川市長 河井規子